

平成25年度環境監査（定期監査）結果

（１）環境監査の概要

- ① 監査員 課長・副参事（５０名）
- ② 監査対象 適用範囲内の課・施設（４８／１６０箇所）、環境管理事務局
- ③ 実施時期 平成２５年１０月２８日（月）～平成２５年１１月２９日（金）
- ④ 実施方法 監査員２人でチームを組み、監査対象の各課・施設の現場で実地監査を実施

（２）環境監査の結果

① 判定

指摘事項	不適合	０件
	要改善	１５件
優良事項		１５件

② 監査総括

- ア 監査の結果、区の環境マネジメントシステム（以下、「EMS」という。）は、概ね適切に運用されていることが確認できました。
- 指摘事項において、「不適合」はなく、「要改善」は主に研修実施記録書の未作成、環境配慮活動プログラムや活動状況報告書の未記入などの軽微な指摘であり、監査後は速やかに是正されています。
- イ 平成25年度は、特にエネルギー管理（電気や都市ガスの使用量）に着目し、環境監査を実施しました。東日本大震災以降、区では率先して節電や省エネルギーに取り組んできましたが、その取組は現在も継続して実施されていることが確認できました。
- なかでも一部の複合施設の庁舎管理者（地球温暖化対策推進員）は適切なエネルギー管理をするために、エネルギー使用状況等を共有し、他の施設と連携・協力しながら使用量の削減に取り組んでいます。
- ウ 区立学校では、事業者と連携し、ペットボトルのキャップを回収したり、NPO法人と協働してミツバチの飼育や屋上プランターで農作物を栽培するなど、地域と密着した幅広い環境配慮活動を推進しています。
- エ 保育園では、「園だより」に環境配慮活動の記事を掲載したり、リサイクル品の利用を通じて幼児期からの環境の意識付けを行うとともに、保護者に対しても環境意識の向上を図るなど、各園が工夫して独自の取組を実践しています。

(3) 今後の対応

- ① 優良事項等については、その水平的な展開を図る。
- ② 軽微な指摘事項は、主に担当職員の事務処理が習慣化されていないことによると考えられるため、研修や環境監査での現場確認や評価（判定）を通じ、職員の環境に対する意識の向上に努める。
- ③ 今後、エネルギー使用量は人口の増加やニーズの多様化による施設の増改築、開館日や利用時間の拡大などの要因から増加が見込まれる。環境管理事務局においては、さらにエネルギー使用量の削減に向けて、各所属・施設に対し、効率的な省エネルギー・節電対策に関する情報を積極的に発信する。

平成25年度 環境配慮活動プログラム活動状況

区分	実行計画 取組NO.	環 境 活 動	平均点
電力 燃料	A01-03	昼休み消灯、空室の消灯、部分点灯の実施	4.7
	A04-05	OA機器の省エネモード設定、帰宅時のコンセントオフ	4.4
	A06	概ね1時間45分以上使用しないPCのシャットダウン	4.2
	A07-09	冷暖房温度の適正な設定、空調範囲表示	4.5
	A10-13	こまめな空調停止（空室、不在時、余熱利用）、外気防止、ロスタイム使用	4.6
	A14	2アップ3ダウンの奨励（エレベーター使用の抑制）	4.4
	A15	ガス器具の適正使用	4.8
車 両	B01-04	エコドライブ（急加速等の抑制、アイドリングストップ等）の徹底	4.4
	B05-06	走行距離の抑制（適正ルート選択、公共交通機関利用）	4.7
	B07	低公害車の導入	5.0
	B08-09	その他、庁有車の適正利用（相乗り、積荷整理、エアコン適正利用）	4.4
ごみ	C01	ごみの発生抑制（エコバック利用、簡易包装の申し出、等）	4.3
	C02-03	分別、リサイクルの推進	4.6
	C04	廃棄物の適正処理	4.8
用紙	D01-04	用紙の適正使用（印刷要否の精査、両面印刷、資料の簡易化等）	4.3
水道	E01-03	水道の適正使用（こまめな蛇口開閉、水漏点検、節水器具等）	4.7
備品	F01-02	グリーン購入推進、事務用品の再使用・長期使用	4.6
学 校	G01-02	全校環境活動の実施（委員会活動やPTAとの連携）	4.4
	G03	環境教育の実施	4.1
管 設 理 備	H01-02	照明の適正化（照度設定、採光利用）	4.6
	H03-04	外気の有効利用	4.5
	H05-10	待機・不要電力の削減（エレベーター、便座ヒーター、自動販売機、外灯等）	4.6
	H11-16	設備点検・清掃（照明、空調、熱源機器、ボイラ等）	4.8
更 設 新 備	I01-08	照明設備の改修・更新	4.5
	J01-05	空調設備の改修・更新	4.4
	K01-03	給湯設備の改修・更新	4.6
	L01-02	その他設備の改修・更新	4.6
独 自	—	事業特性を考慮した独自の取組み	4.6
法 令	—	適用を受ける環境法令等の順守	4.7

備 考 1 各所属・施設の地球温暖化対策推進員によるEMS環境配慮活動プログラムの活動評価（平成25年度）の点数を平均した。

2 評価基準は、5～0点。主な評価は、5点：徹底、遵守されている。実施した。3点：一部不徹底。

1点：徹底、遵守されていない。実施できなかった。0点：該当事項ではない。

平成25年度 環境目標達成状況

部 門	指 標	基準年度 使用量 (平成21年度)	削減目標		平成25年度		基準年度に 対する 増減率	達 成 状 況 評 価
			削減率※	削減量	使用量等	増減 (H25-H21)		
本 庁 舎	電気(kWh)	2,140,567	-8.8%	-188,370	1,886,069	-254,498	-11.9%	○
	ガス(m ³)	92,056	-3.0%	-2,762	73,038	-19,018	-20.7%	○
	水道(m ³)	17,633	-3.0%	-529	17,120	-513	-2.9%	×
	用紙類(kg)	65,830	-3.0%	-1,975	69,441	+3,611	5.5%	×
	ごみ(廃棄量)(kg)	18,367	-3.0%	-551	21,608	+3,241	17.6%	×
	燃料(L)	134,302	-3.0%	-4,029	135,062	+760	0.6%	×
	CNG(m ³)	501	-3.0%	-15	691	+190	37.9%	×
	車両走行距離(km)	448,576	-3.0%	-13,457	435,237	-13,339	-3.0%	×
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
大規模施設 総合スポーツセンター マヒームはるみ 中央会館	電気(kWh)	7,374,022	-8.1%	-597,296	6,340,401	-1,033,621	-14.0%	○
	ガス(m ³)	602,097	-0.5%	-3,010	535,922	-66,176	-11.0%	○
	水道(m ³)	90,009	-3.0%	-2,700	82,434	-7,575	-8.4%	○
	用紙類(kg)	3,762	-3.0%	-113	7,318	+3,556	94.5%	×
	ごみ(廃棄量)(kg)	80,856	-3.0%	-2,426	72,456	-8,400	-10.4%	○
	燃料(L)	19,481	-0.5%	-104	17,031	-2,451	-12.6%	○
	CNG(m ³)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
	車両走行距離(km)	104,046	-0.5%	-555	76,331	-27,715	-26.6%	○
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
区立学校	電気(kWh)	9,168,987	-4.1%	-375,928	10,013,354	+844,367	9.2%	×
	ガス(m ³)	1,357,288	-4.1%	-55,588	1,421,171	+63,883	4.7%	×
	水道(m ³)	183,195	-3.0%	-5,496	200,080	+16,885	9.2%	×
	用紙類(kg)	54,898	-3.0%	-1,647	60,016	+5,118	9.3%	×
	ごみ(廃棄量)(kg)	198,093	-3.0%	-5,943	198,334	+241	0.1%	×
	燃料(L)	432	-4.1%	-18	0	-432	-100.0%	○
	CNG(m ³)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
	車両走行距離(km)	0	+0.0%	+0	0	+0	*****	***
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0	3,244,646	+3,244,646	*****	***
その他の施設	電気(kWh)	23,725,108	-3.3%	-782,929	23,243,547	-481,561	-2.0%	×
	ガス(m ³)	908,920	-3.3%	-30,110	1,094,164	+185,244	20.4%	×
	水道(m ³)	317,025	-3.0%	-9,511	334,804	+17,779	5.6%	×
	用紙類(kg)	73,894	-3.0%	-2,217	41,720	-32,174	-43.5%	○
	ごみ(廃棄量)(kg)	231,957	-3.0%	-6,959	250,046	+18,089	7.8%	×
	燃料(L)	249,354	-3.3%	-8,260	295,982	+46,628	18.7%	×
	CNG(m ³)	20,463	-3.3%	-678	13,116	-7,347	-35.9%	○
	車両走行距離(km)	220,474	-3.3%	-7,304	318,524	+98,050	44.5%	×
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888	9,617,815	+73,435	0.8%	×
合 計	電気(kWh)	42,408,684	-4.6%	-1,950,799	41,483,371	-925,313	-2.2%	×
	ガス(m ³)	2,960,361	-3.1%	-91,470	3,124,295	+163,934	5.5%	×
	水道(m ³)	607,862	-3.0%	-18,236	634,438	+26,576	4.4%	×
	用紙類(kg)	198,384	-3.0%	-5,952	178,495	-19,889	-10.0%	○
	ごみ(廃棄量)(kg)	529,273	-3.0%	-15,878	542,444	+13,171	2.5%	×
	燃料(L)	403,569	-3.1%	-12,411	448,074	+44,505	11.0%	×
	CNG(m ³)	20,964	-3.3%	-693	13,807	-7,157	-34.1%	○
	車両走行距離(km)	773,096	-3.0%	-21,316	830,092	+56,996	7.4%	×
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888	12,862,461	+3,318,081	34.8%	×

評 価

・ 電気

電力使用量は基準年度比4.6%の削減目標に対し、2.2%の削減にとどまった。

「本庁舎」と「大規模施設」は、前年度に引き続き大幅な使用量削減となり、東日本大震災以降の上乗せした削減目標値を達成した。

「区立学校」は、一昨年9月に建て替えられた中央小学校の体育館や屋上校庭の夜間開放などにより使用量が増加した。今後は、昨年度、中央区保健所等複合施設と月島第三小学校等複合施設をモデル施設として実施した区施設の設備運用改善に基づき作成する管理マニュアルを活用するとともに、街路照明灯のLED化などにより、使用量の削減を図っていく。

・ ガス

ガスの使用量は基準年度比3.1%の削減目標に対し、5.5%の増加であった。

平成25年度は夏から秋にかけて高温日が長く続き、全国125地点で日最高気温の記録を更新した。また11月中旬以降は、強い寒気により気温は平年を下回る日が多く、都心でも2月に2日続けて記録的な積雪があるなど寒い冬であったことから、冷暖房設備の使用が多くなったことが要因と考られる。

保育園、児童館や敬老館などの「その他施設」では、基準年度比3.3%の削減目標に対し、20.4%の増加であった。高齢者や乳幼児が利用する施設では過剰な節電をする必要はないが、室温を確認してこまめな空調管理を実践していく必要がある。

・ 水道

水道使用量は基準年度3.0%の削減目標に対し4.5%の増加であった。

「区立学校」や「その他施設」において使用量が増加しており、その要因は児童・生徒数や施設利用者数の増加に伴うものと考えられる。

こまめな蛇口の開閉や水の流し放しをしないことなどを徹底するとともに、設備改修の際には節水器具や設備等の導入を図る必要がある。

・ 用紙類

内部事務等で使用する用紙類は、基準年度比3.0%の削減目標に対し、10.0%削減することができた。

「本庁舎」においては用紙類の購入量が増加傾向にあるので、会議資料予備部数の見直しやグループウェアの積極的な活用により、使用量の削減に取り組むことが必要である。

・ ごみ（廃棄量）

ごみの廃棄量は基準年度3.0%の削減目標に対し、2.5%の増加であった。

特に「本庁舎」においては17.6%の増加であった。増加傾向にある「その他の可燃ごみ」の中にリサイクルできるコピー用紙やチラシなどが含まれていることから、過日通知した「ごみの分別の徹底」を再確認し、各職場で分別の徹底によるごみ排出量の削減に努める必要がある。

・ 燃料

燃料については、基準年度比3.1%の削減目標に対し、11.0%の増加であった。

主な増加要因は、区民サービスの充実や業務増加による巡回車両の燃料消費量が増加したことによる。サービスの充実や執務の適正執行などのため、やむを得ない状況であるが、運転者はエコドライブを守り、燃費の良い走行に心がける必要がある。

- CNG

CNGについては、基準年度比3.3%の削減目標に対し、34.1%の削減であった。

主な削減要因は、中央清掃事務所においてCNG車両からディーゼル車に買い替えたことによる。

- 車両走行距離

施設利用者用送迎バスや廃棄物収集車両のほか、土木系車両やごみの排出などの指導にあたる車両などの走行距離が増加している。

職員における庁有車の利用は、多人数での移動や荷物の運搬などで使用する以外、公共交通機関を利用するように心がける必要がある。

- 地域冷暖房エネルギー

基準年度比2.0%の削減目標に対し、34.8%の増加となった。これは、平成24年9月から明石小学校新校舎において地域冷暖房エネルギーが新たに導入されたことによる。

平成26年度 環境目標

部 門	指 標	※1 基準年度 使用量 (平成21年度)	削減目標	
			※2 削減率	削減量
本 庁 舎	電気(kWh)	2,140,567	-8.8%	-188,370
	ガス(m ³)	92,056	-3.0%	-2,762
	水道(m ³)	17,633	-3.0%	-529
	用紙類(kg)	65,830	-3.0%	-1,975
	ごみ(廃棄量)(kg)	18,367	-3.0%	-551
	燃料(L)	134,302	-3.0%	-4,029
	CNG(m ³)	596	-3.0%	-18
	車両走行距離(km)	448,576	-3.0%	-13,457
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0
大規模施設 総合スポーツセンター マホムはるみ 中央会館	電気(kWh)	7,374,022	-8.1%	-597,296
	ガス(m ³)	602,097	-0.5%	-3,010
	水道(m ³)	90,009	-3.0%	-2,700
	用紙類(kg)	3,762	-3.0%	-113
	ごみ(廃棄量)(kg)	80,856	-3.0%	-2,426
	燃料(L)	19,481	-0.5%	-104
	CNG(m ³)	0	+0.0%	+0
	車両走行距離(km)	104,046	-0.5%	-555
	地域冷暖房(MJ)	0	+0.0%	+0
区立学校	電気(kWh)	9,168,987	-4.1%	-375,928
	ガス(m ³)	1,357,288	-4.1%	-55,588
	水道(m ³)	183,195	-3.0%	-5,496
	用紙類(kg)	54,898	-3.0%	-1,647
	ごみ(廃棄量)(kg)	198,093	-3.0%	-5,943
	燃料(L)	432	-4.1%	-18
	CNG(m ³)	0	+0.0%	+0
	車両走行距離(km)	0	+0.0%	+0
	地域冷暖房(MJ)	3,244,646	-2.0%	-64,893
その他の施設	電気(kWh)	23,725,108	-3.3%	-782,929
	ガス(m ³)	908,920	-3.3%	-30,110
	水道(m ³)	317,025	-3.0%	-9,511
	用紙類(kg)	73,894	-3.0%	-2,217
	ごみ(廃棄量)(kg)	231,957	-3.0%	-6,959
	燃料(L)	249,354	-3.3%	-8,260
	CNG(m ³)	13,116	-3.3%	-434
	車両走行距離(km)	220,474	-3.3%	-7,304
	地域冷暖房(MJ)	9,544,380	-2.0%	-190,888
合 計	電気(kWh)	42,408,684	-4.6%	-1,944,523
	ガス(m ³)	2,960,361	-3.1%	-91,470
	水道(m ³)	607,862	-3.0%	-18,236
	用紙類(kg)	198,384	-3.0%	-5,952
	ごみ(廃棄量)(kg)	529,273	-3.0%	-15,878
	燃料(L)	403,569	-3.1%	-12,411
	CNG(m ³)	13,712	-3.3%	-452
	車両走行距離(km)	773,096	-3.0%	-21,316
	地域冷暖房(MJ)	12,789,026	-2.0%	-255,781

※1 基準年度使用量について

○ CNG燃料は車両減少に合わせて、前年度(平成25年度)の使用量を基準値としている。

○ 区立学校部門の地域冷暖房は前年度(平成25年度)の使用量を基準値としている。

※2 削減率について

○ 中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画のエネルギー使用量削減目標を基本に環境目標を設定している。
ただし、電気については平成23年度以降、節電の取り組みを継続しているため削減目標率を上げている。